This Way to Success! by Alan Levine: https://flic.kr/p/2fCECWE

挫折しない REDMINE

前田 剛
（ファーエンドテクノロジー株式会社）

前田 剛

twitter.com/g_maeda

Redmineコミッター

コミッターとしてRedmineの開発に参加しています

ファーエンドテクノロジー株式会社 代表取締役

Redmineのクラウドサービスを2008年から提供しています

MY REDMINE

planio

Redmineの非公式Webサイトを2007年から運営しています

Redmineの最新情報が届く

LINE公式アカウントやってます

LINE 公式アカウント

https://lin.ee/o7KLd08K

前田剛（ファーエンドテクノロジー）
LINE公式アカウント

Redmineのリリース情報や
セミナー情報をいち早くお届けします！

前田剛 （ファーエンドテクノロジー）

★RedMica 2.0.0 リリース

ファーエンドテクノロジー版Redmine「RedMica」2.0.0をリリースしました。
https://github.com/redmica/redmica/releases/tag/v2.0.0

RedMicaはRedmine互換のオープンソースソフトウェアです。Redmineの次期バージョンの新機能を先行して利用できます。
――――――――
以下、RedMica 2.0.0の主要な変更です。

●グループごとに二要素認証を必須にするかどうか設定可能に
●テキスト形式のフィルタ（題名、説明、コメントなど）で複数キーワードのAND検索に対応
●デフォルトカスタムクエリ（Default Custom Query プラグイン相当）
●Rails 6.1 への移行
●CommonMark Markdownの試験的なサポート

今日の内容

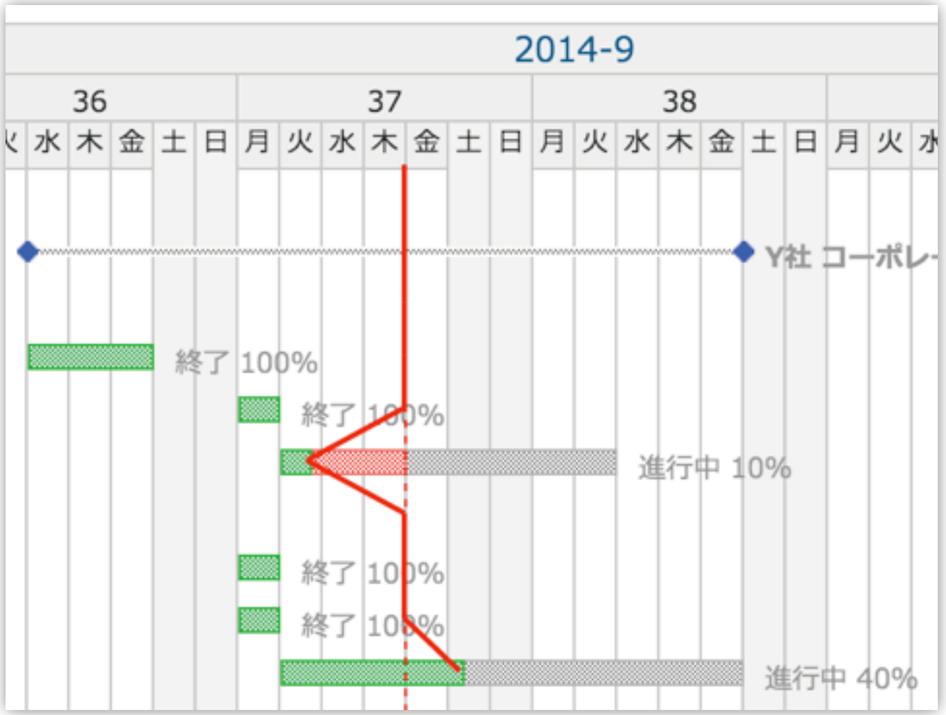
Redmineを見よう見まねで使い始めて間もない方向けに、チケット管理に
挫折せずにRedmineを使い続けるために知っておいて欲しいことを伝えます。

- **Redmineとは何か**
- **Redmineの廃墟化を防ぐために**
  - まずは難易度が低い領域で使う
  - Redmineの考え方を端的に伝える
  - 消しやすいチケットを心がける
  - バージョンを活用する
  - カスタムクエリを活用する
  - JAXAのRedmine論文を読む

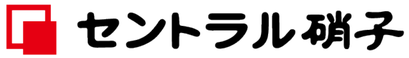
Redmineとは何か

Redmineはオープンソースのプロジェクト管理ツール

- 課題管理や情報共有が行える、プロジェクト運営を支援するためのオープンソースソフトウェア
- Jean-Philippe Lang氏を中心に開発が進められている



日本でも広く使われている

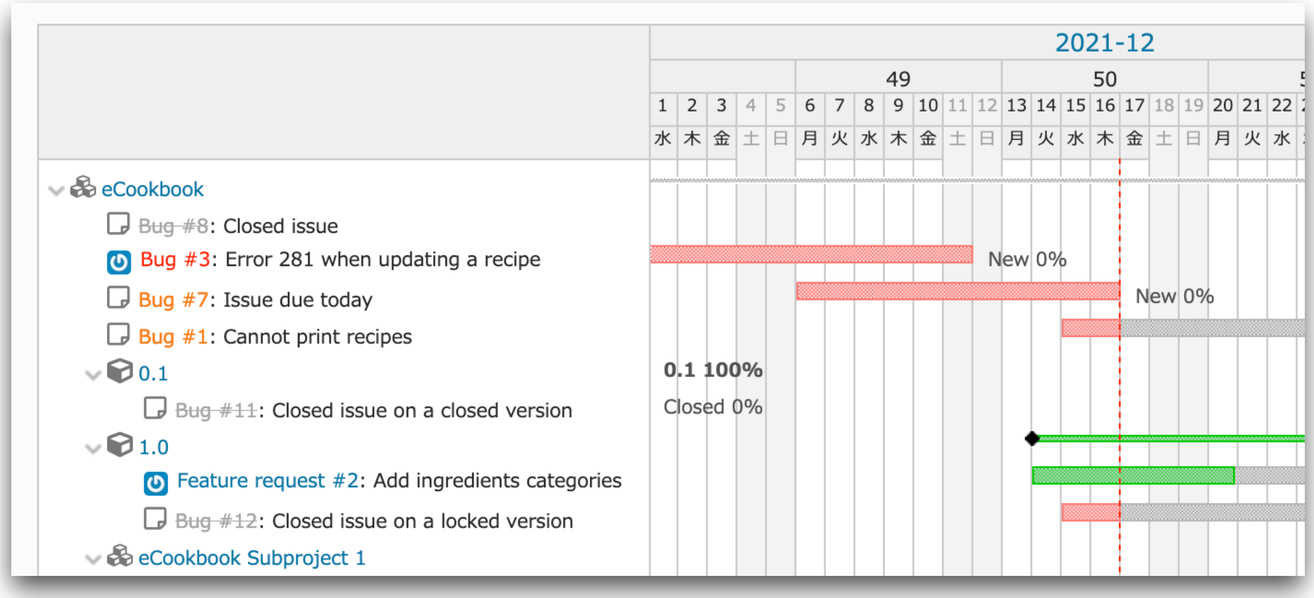


<クラウドサービス「My Redmine」の事例紹介にご協力いただいた皆様>

事例紹介: https://hosting.redmine.jp/casestudy/

チームでの作業を支援するさまざまな機能が使える

- チケット
- ガントチャート
- 時間管理
- Wiki
- フォーラム
- リポジトリブラウザ
- ほか



中核的な機能はチケットによる課題管理機能

実施すべき作業、修正すべきバグなど、チームのタスクを「**チケット**」として登録。

3	No.	優先度	課題内容	記入日	記入者	対応内容	期限	完了	確認日
4	1	通常	日割料金の計算が四捨五入になっている	12/1	山口		12/5		
5	2	通常	特定のキー操作を行うと一般ユーザーでも管理画面にアクセスできてしまう	12/1	山口				
6	3	高	都道府県選択で島根県と鳥取県の順番が逆	12/1	山口	都道府県マスタのデータ不良。マスタ修正し不具合解消確認。			
7	4								
8	5								

チケットは管理表の明細1行分に相当

バグ #5

編集　時間を記録　ウォッチ　コピー　削除

都道府県選択で鳥取県と島根県の順番が逆

山口 裕子 が [2014/06/16 14:54] 3年以上前に追加. [2014/06/18 15:06] 3年以上前に更新.

ステータス:	解決	**開始日:**	2014/06/16
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:	山口 裕子	**進捗率:**	60%
対象バージョン:	-	**予定工数:**	
不具合原因:			

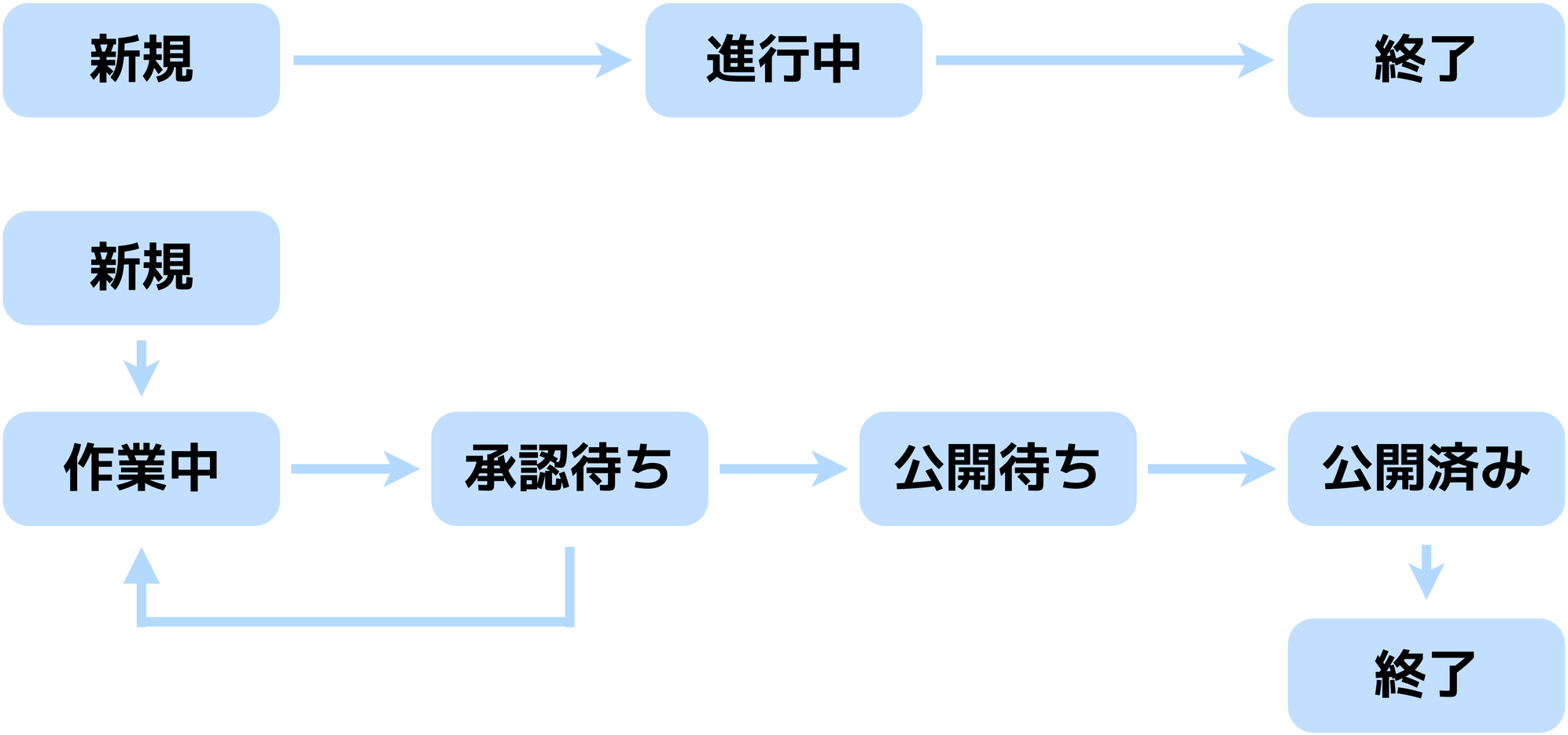
説明　引用

自治体コード順だと「鳥取県 島根県」の順で表示されるはずだが、都道府県を選択するためのドロップダウンリストボックスでは「島根県 鳥取県」の順で表示されている。マスタ上で島根と鳥取が逆になっている可能性あり。

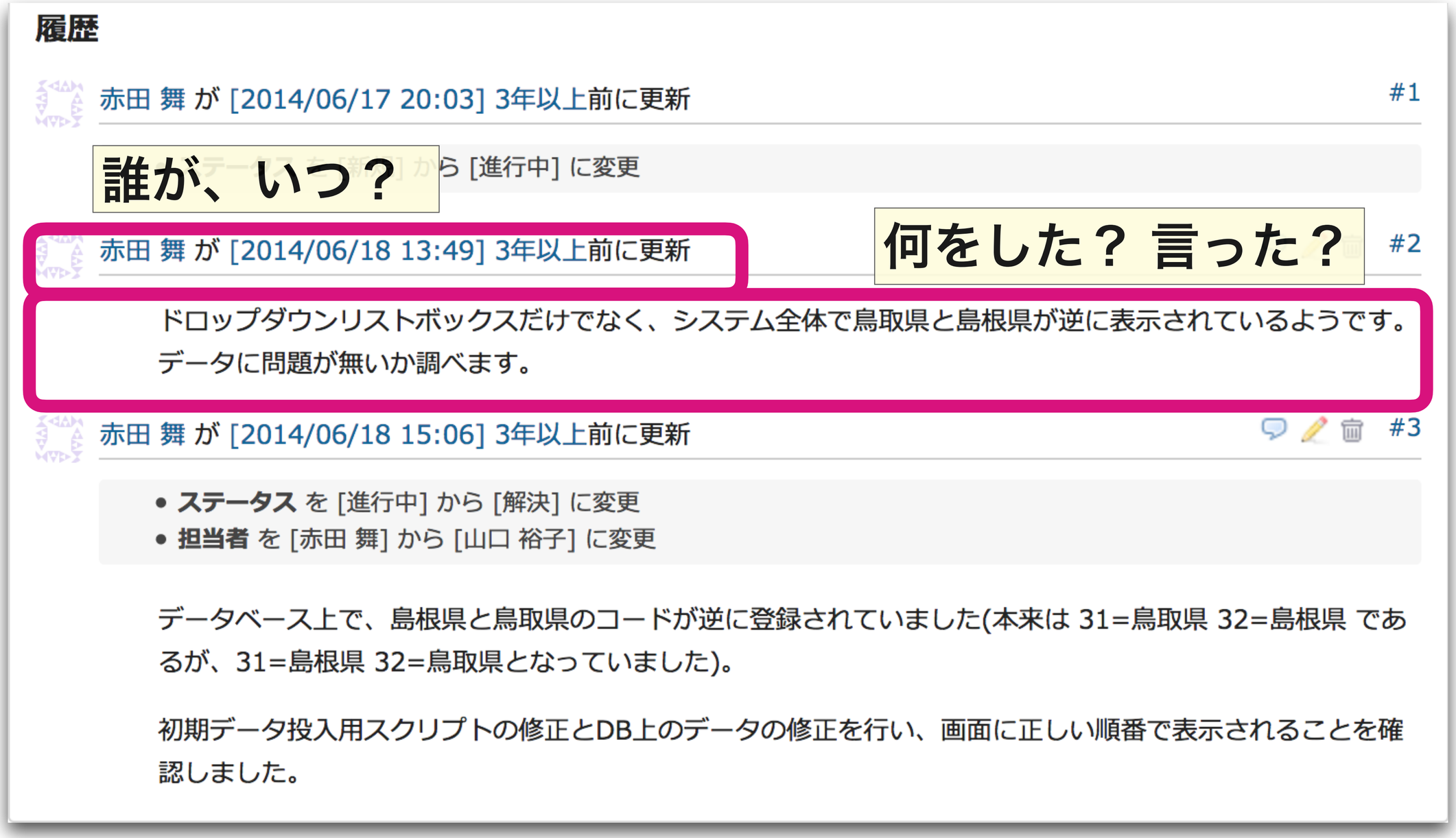
チケットの利点：誰が何をすべきか明確になる

チケットの利点：ステータス管理ができる

ステータスは自由に作成可。使用するステータスとその遷移はトラッカーごとに定義可

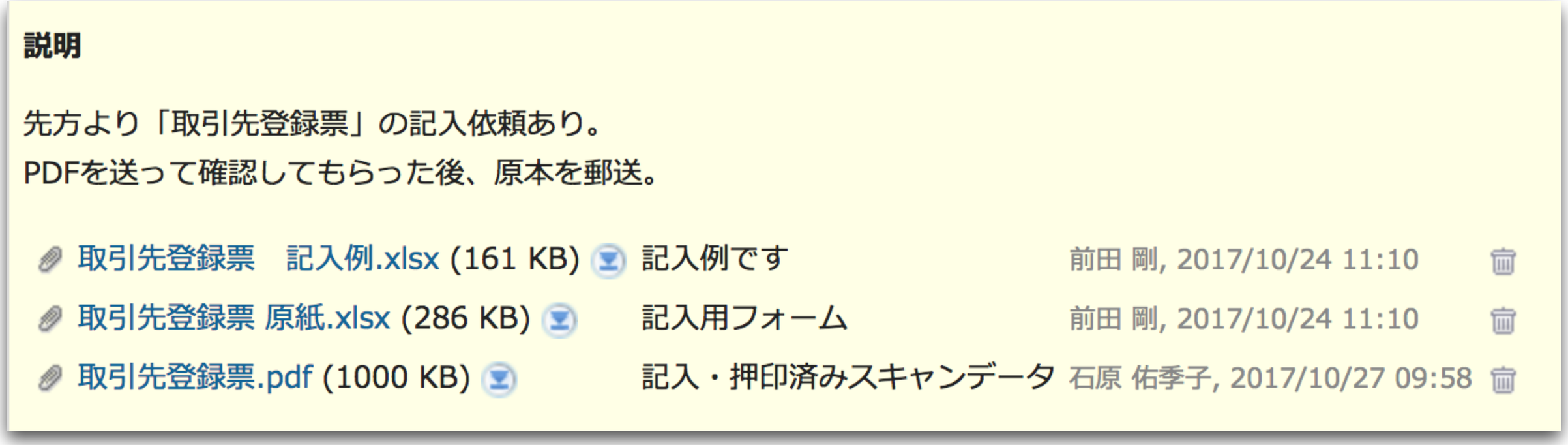


チケットの利点：作業やコミュニケーションの履歴が残せる

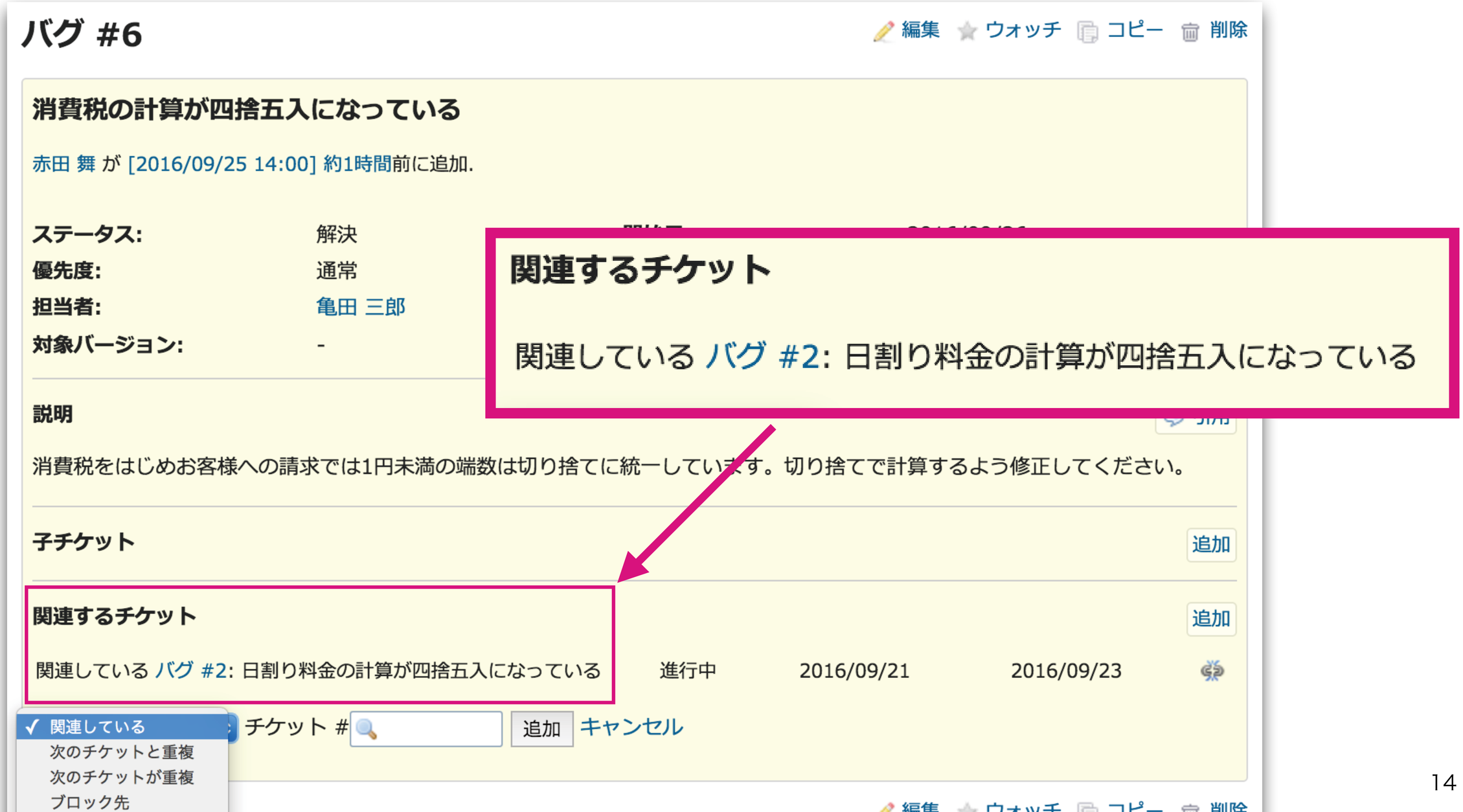


チケットの利点: 課題へのファイルを添付できる

その課題に関係したファイルを集約。ファイルが散らばらず便利



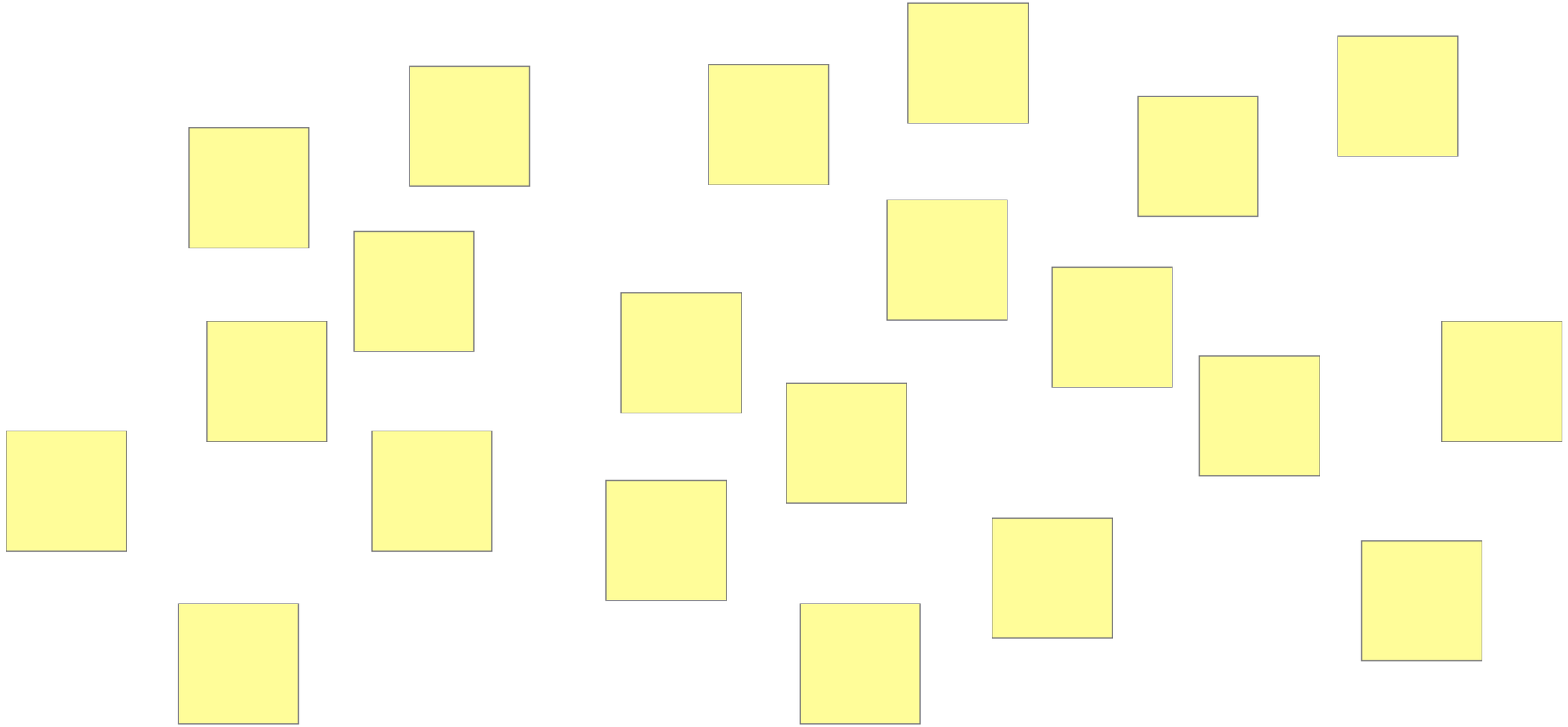
チケットの利点: 課題同士を関連づけられる



Redmineの廃墟化

- 誰も更新せず、ほぼ存在が忘れ去られたRedmine
- 懐かしい気持ちになる、古い日付の未完了のチケットがあるだけ

<Redmineあるある①>
チケットが多くて、どこから
手をつければよいかわからず最終的に放置



<Redmineあるある②>
関係者に使い方が伝わっていない

“268/365 - Default State” by Helga Weber: https://www.flickr.com/photos/helga/3952984450/

<Redmineあるある③>
誰も使わなくなって廃墟状態

“Ruins, Silverton” by Chris Fithall
https://www.flickr.com/photos/chrisfithall/13885123976/

廃墟化を防ぐために：

①まずは難易度が低い領域で使う

挫折しにくい適用範囲

最初はバグ管理・インシデント管理など、登録したチケットの対処をすぐに行う業務から使い始めてRedmineに慣れてから対象を広げるのがお勧め。

難易度 **低**	難易度 **高**
バグ管理 Q&A管理 インシデント管理	プロジェクト管理
随時発生する課題を都度登録しどんどん処理していく形態の業務は適用が簡単。	将来のタスクの洗い出しや、すぐに処理するわけではない大量の課題の扱いには習熟が必要。

廃墟化を防ぐために：
②Redmineの考え方を端的に伝える

利用者には、まずこのように理解してもらう

Redmineは
みんなで協力してチケットを消すことで
プロジェクトを終わらせるツール

チケットを消す（終了させる）ためにやること

自分が担当のチケットを消す

自分で消す、ほかのメンバーに渡す

ほかのメンバーが担当のチケットを消す

渡してもらう、手伝う

記録を残す・コミュニケーションする

消すために実施したことを記録したり、消すためコミュニケーションを行う。
それらは全てRedmine上にノウハウ・知識として蓄積される

チケットを消すことを意識することで…

⇩

チケットを消しやすい

Redmineの運用を心がける

⇩

運用の挫折・Redmineの廃墟化を防げる

廃墟化を防ぐために：
③消しやすいチケットを心がける

<消しにくいチケット①>
粒度が大きい

どこから手をつければよいのかわからない

放置される原因に

完了するまでに時間がかかるので
なかなか消せない

作業のボリューム・進捗がわかりにくい、モチベーションにも悪影響

タスク#1
販売管理システム開発

チケットは数時間から数日で終わる大きさがお勧め
大きなチケットは子チケットに分割することを検討

<消しにくいチケット②>
複数の課題が書かれている

やるべきことがわかりにくい

すべて終わらないと消せない

(1) ○○で文字化け
(2) △△で必須チェック漏れ
(3) □□の件の見積書をください

<消しにくいチケット③>
終了条件が不明確

どの時点で消してよいか分からない

どうなれば・どうすれば終了なのかを意識して
チケットを作成する

「運用マニュアルを執筆する」のように、
「○○を△△する」のような題名にすると
終了条件を意識しやすい

タスク#1
運用マニュアル

終了条件は執筆完了？製本完了？
配布完了？運用説明会完了？

ほかのメンバーを思いやって、消しやすさ（終了しやすさ）を意識してチケットを作りましょう

廃墟化を防ぐために：
④バージョンを活用する

大量のチケットをバージョンで整理

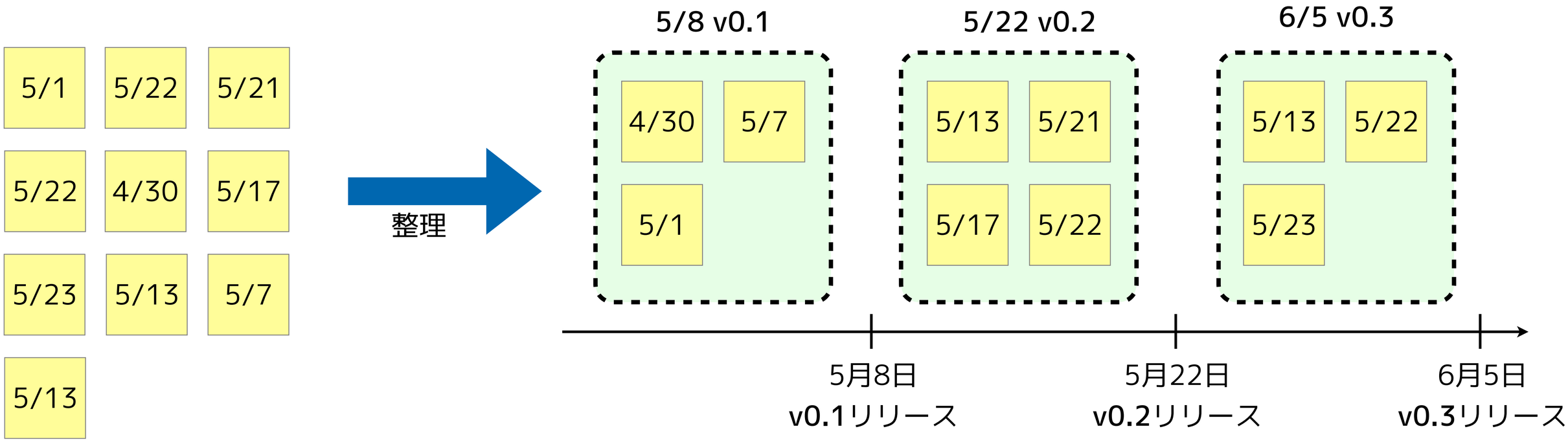
プロジェクト管理で利用する場合、
すぐに着手しないものも含めて多数のチケットが登録される

⇩

チケットの一覧が長くなり、どのチケットに着手すべきか分かりにくい。
今やるべきものだけに注目する仕組みが必要

<大量のチケットの整理>
バージョン

プロジェクトの区切り（フェイズ）ごとに「バージョン」を作成し、
その区切り（フェイズ）に関係するチケットをまとめることができる



<大量のチケットの整理>
バージョンを利用するメリット

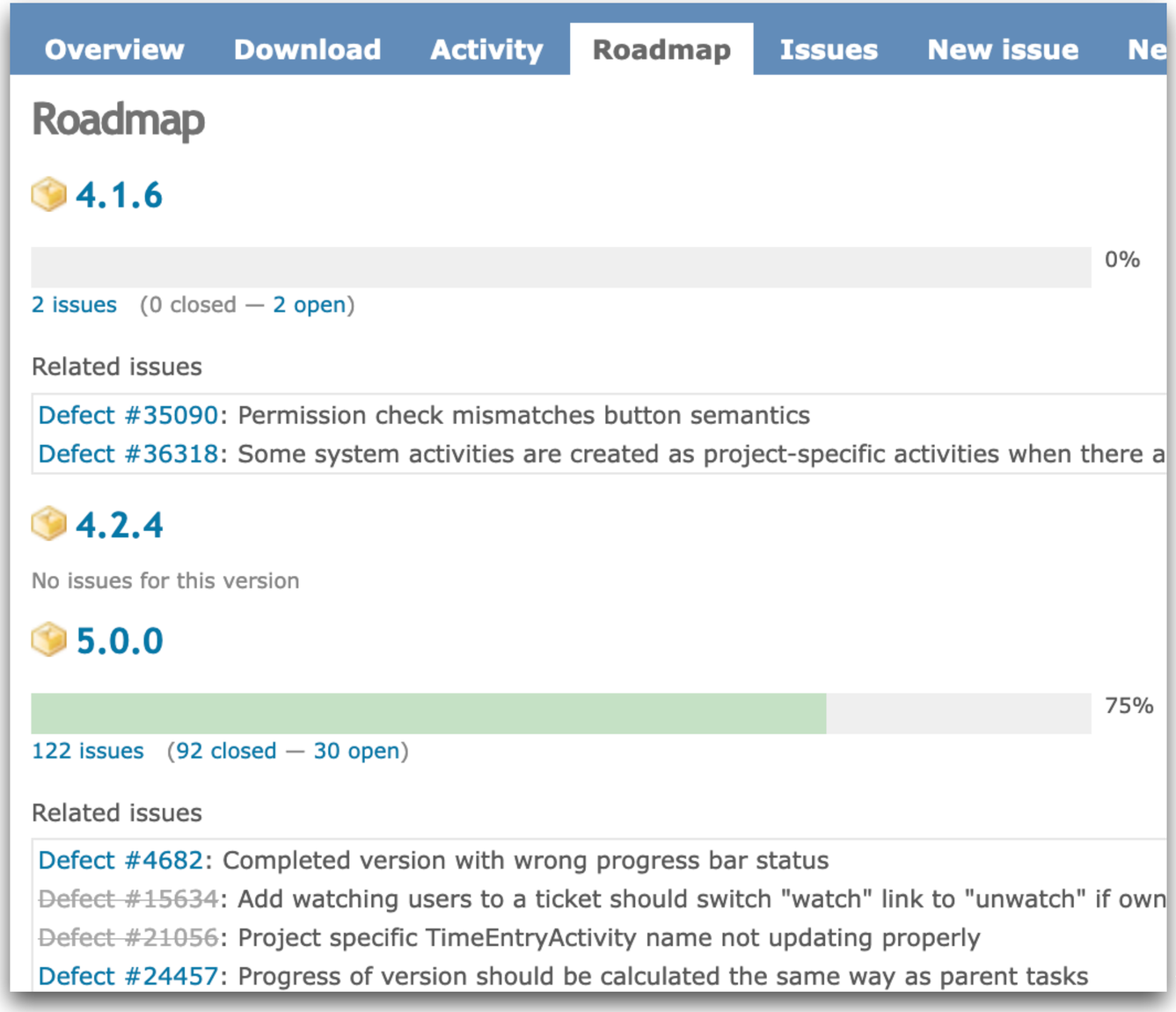
バージョンに関連づけられたチケットのみの一覧をロードマップ画面で参照できる。

大量のチケットの中から、今作業すべきチケットだけに注目できる。

<大量のチケットの整理>
バージョンの利用例

Redmine公式サイトのロードマップ画面。

約5000件の未完了チケットのうち、目前のリリースの向けて処理すべきチケットがわかる



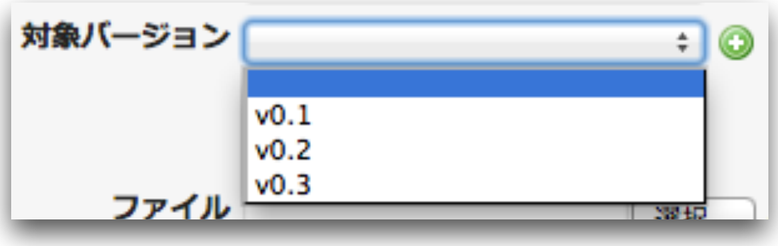
<大量のチケットの整理>
バージョンの利用方法

①バージョンの作成

管理者ロールのユーザーで「設定」→
「バージョン」

②チケットをバージョンに関連づけ

チケットの「対象バージョン」で選択



③ロードマップ画面の参照

「ロードマップ」画面で、バージョンに関連づけられたチケットと進捗状況が確認できる

バージョンを使うことで、大量のチケットから現段階で取り組むチケットをピックアップして小さなチケット一覧を作れる

廃墟化を防ぐために：
⑤カスタムクエリを活用する

大量のチケットをカスタムクエリで整理

大量のチケットから必要なチケットを絞り込むフィルタを保存できる。

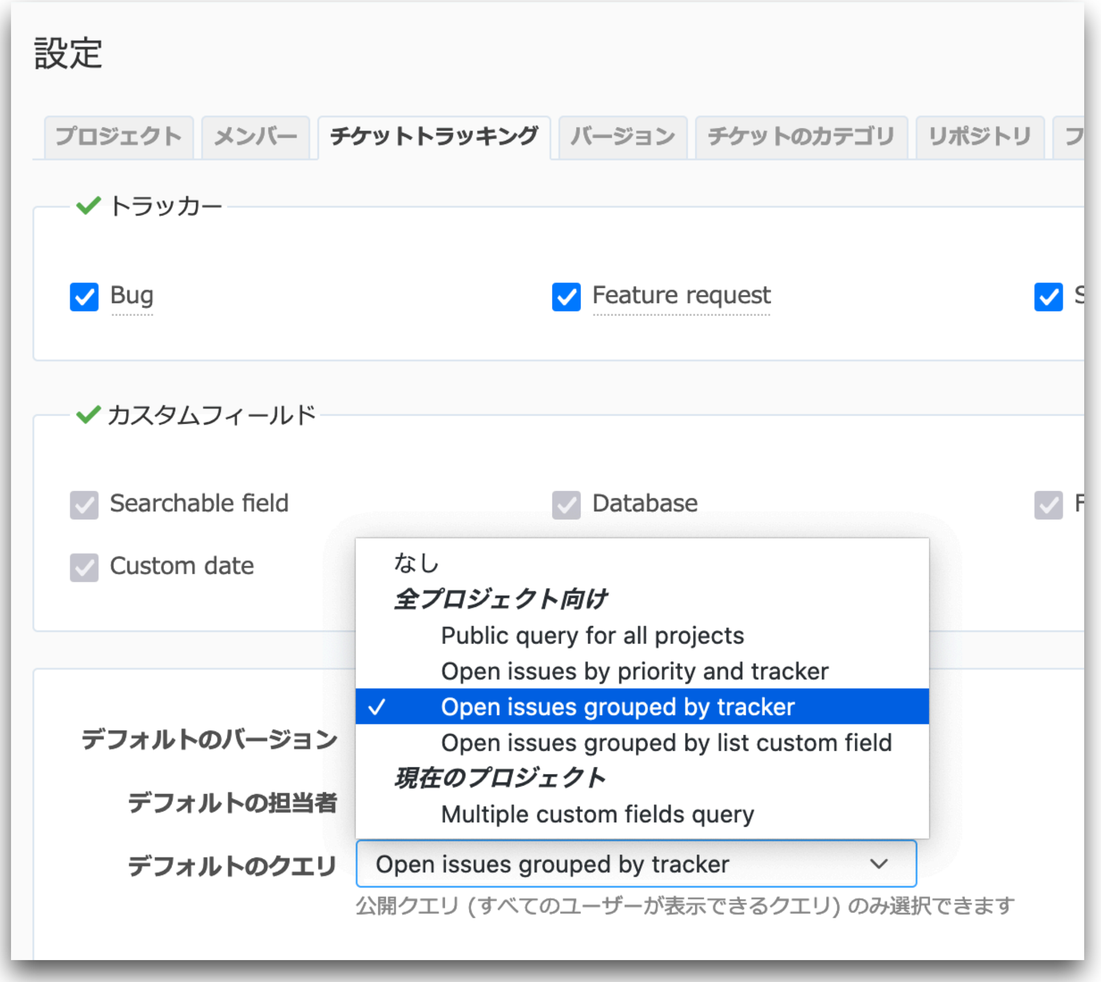
自分が必要な小さなチケット一覧を作成して、やるべきことを明確にできる。

フィルタの条件は「クエリ」として保存しておくと
サイドバーのリンクのクリック一発で呼び出せる

<小技> デフォルトクエリ

RedMica 2.0（2021年11月リリース）・Redmine 5.0（未リリース）では、チケット一覧に特定のカスタムクエリをデフォルトで適用させることができる。

メンバーに対して見せたいチケットの一覧をデフォルトで見せることができる。



REDMICA

RedMicaは最新機能がいち早く使える
ファーエンドテクノロジー版Redmine
www.redmica.jp

廃墟化を防ぐために：

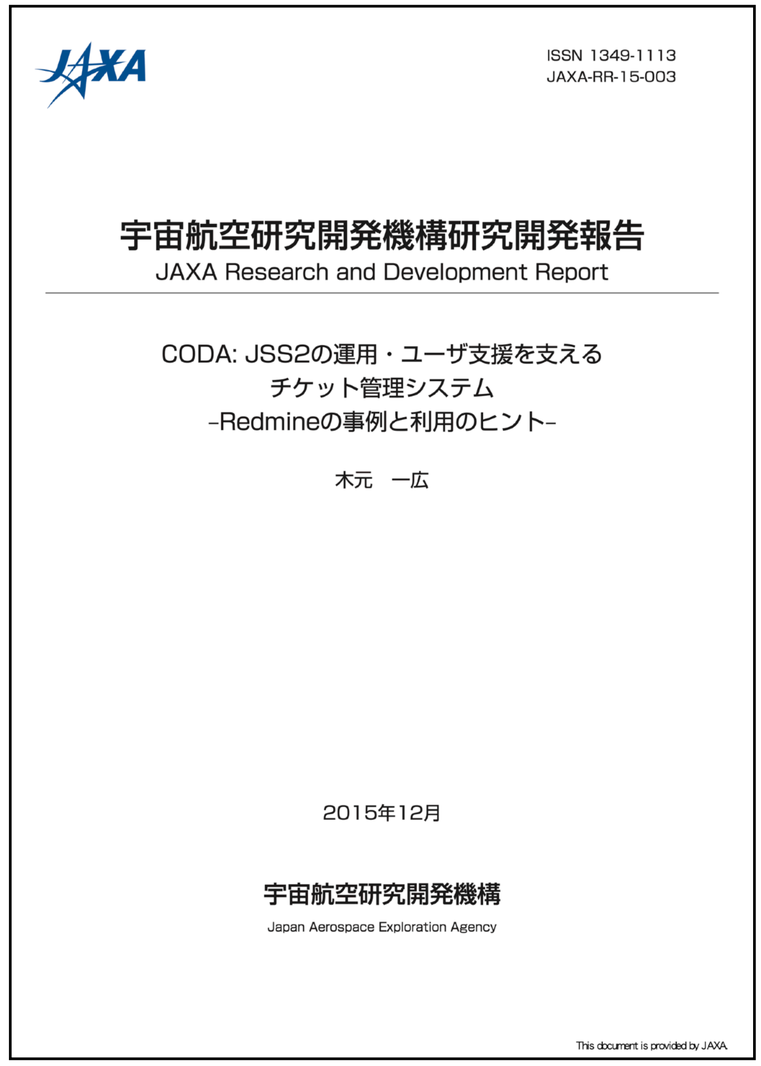
⑥JAXAのRedmine論文を読む

JAXA スーパーコンピュータ活用課におけるRedmine利用の知見をまとめた論文「**CODA: JSS2の運用・ユーザ支援を支えるチケット管理システム: Redmineの事例と利用のヒント**」。

Redmineの構造を理解し、使いやすく設定するための参考になる。

JAXA Redmine

で検索



JAXA論文の特に読んで欲しい箇所

- **4.2.1 ロール設定のOR ルール**
  ロールの定義数を抑えるテクニック
- **4.2.3 フィールド設定のAND ルール**
  トラッカーの定義数を抑えるテクニック
- **4.3 プロジェクトの分割の目安**
  プロジェクトを分割する基準
- **Figure 8 Redmineの主な定義の構造**
  ロール、ステータス、ワークフロー、トラッカー、カスタムフィールド、
  プロジェクト、ユーザー、グループなどのオブジェクト間の関連を図示

まとめ

- まずは難易度が低い領域で使う
- Redmineの考え方を端的に伝える
- 消しやすいチケットを心がける
- バージョンを活用する
- カスタムクエリを活用する
- JAXAのRedmine論文を読む

ありがとうございました

オンプレミス

REDMINE
flexible project management

オープンソース
無料

- 誰でも自由に利用できる
- 自由にカスタマイズできる
- プラグインが多くある

クラウド

MY REDMINE

スタンダードプラン
月額 8000円
(税込 8800円)
200GB / 1000人

- Redmine の新機能を先行して提供
- 独自機能の提供（チケットパネル等）
- サポートあり

my redmine 検索

LINE 公式アカウント

前田剛（ファーエンドテクノロジー）
LINE公式アカウント

Redmineのリリース情報や
セミナー情報をいち早くお届けします！